

## 表紙のモデル



## 緊急通貨 (Notegeld)

制作地:デュッセルドルフ 発行日:1923年8月25日

寸法:(横)155mm (縦)100mm

ドイツの緊急通貨は第一次大戦開戦後、地方自治体や企業などによって発行されました。本号の中面では、主にハイパーインフレ期の紙幣を紹介しました。発行目的はドイツ国内の紙幣不足への対処でしたが、通貨マルクの信用を落とさぬよう紙幣の絵柄や体裁は工夫されました。その結果、緊急通貨には、ドイツ各地の歴史や文化、伝承、産業や政治情勢などが反映されました。

「表紙のモデル」もその一例で、<sup>わし</sup>鷲の足が鎖につながれている点にご注目ください。鷲はドイツのシンボルですが、「戦後連合国によって苦しめられるドイツ」という政治的メッセージが込められているのです。

## バックヤードのひとこま

先輩が新学芸研究員に  
展示解説のテクニックを教えています。

パネルの解説も  
抜かりなく



皆の解説を  
フィードバック



素敵な解説を  
よろしくね!

東北学院大学博物館 情報誌

## OTAKU みゅーじあむ

オタクな展示、お宅でいかが?

—— タイトルの由来 ——

東北学院大学博物館が開催するユニークなイベントや所蔵する“ちょっとマニアック?”な資料を紹介する雑誌であり、ご自宅で読んで楽しめる雑誌を目指し、このタイトルにしてみました。

発行日 2026年9月15日

12号担当 遠藤玄、五戸翔天、和田八由流、反田唯月

編集・発行 東北学院大学博物館

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL:022-264-6920

<https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum>



- 東北学院大学土樋キャンパス内 中央図書館南側
- 地下鉄「五橋駅」下車、愛宕上杉通りを南方向に徒歩5分
- 来館者用駐車場あり(愛宕上杉通り側から)

東北学院大学博物館 情報誌



# OTAKU みゅーじあむ

オタクな展示、  
お宅にいかが?

12号

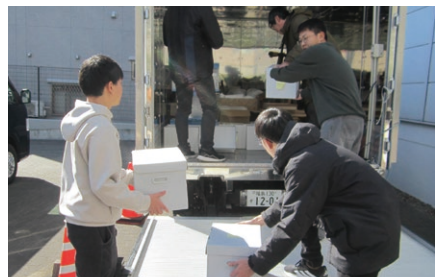


2026.2.13～16

博物館収蔵庫資料点検デー!!

収蔵庫内資料を燻蒸しました

当館では資料に付着した害虫(文化財害虫)を駆除することを目的として年に一度、収蔵庫内の資料を燻蒸しています。今年は2トントラックに資料を積み込み、3日間の燻蒸を行いました。収蔵庫にはたくさんの資料を収蔵しているため、学芸研究員総出で搬入、搬出を行いました。



展示リニューアル!!

2026.6.1～

「財布の中にも歴史はあった!」

～第一次世界大戦後ドイツのハイパーインフレの中で、人々はどう生きたか～

歴史学科杵淵ゼミ紹介展示をリニューアルしました。

本展示の見所は「紙幣の絵柄」。そこにはハイパーインフレの時代を生きた人々が大切に思っていた故郷の歴史や文化などが反映されており、同時代人の心象風景を垣間見ることができます。ぜひご来館ください。



2026.7.4/8.1

東北学院大学博物館関連イベント!!

オープンキャンパスに参加しました

7月4日と8月1日に本学で開催されたオープンキャンパスに当館も参加しました。両日ともたくさんの方にご来館いただきました。当日は歴史学科の七海教授が常駐し、来館者が先生と直接お話しできるブースを設けました。



博物館  
小道具事典  
第4巻

博物館にとって温湿度の記録はとても重要です!

当館では**バイメタル毛髪式温湿度記録計**と

**デジタル温湿度記録計**を用いて記録しています。

バイメタル毛髪式温湿度記録計では、温度変化による金属の変形を利用するバイメタル式と、湿度変化による毛髪の伸縮を利用する毛髪式で温湿度記録をおこなっています。



バイメタル毛髪式  
温湿度記録計



デジタル  
温湿度記録計

温湿度の記録?



ファイルに挿んで  
記録

新たな顔ぶれに  
注目!? 新学芸研究員紹介

今年から2名の大学院生が加わりました!そこで...

①専攻 ②出身地 ③趣味 ④意気込みを聞いてみた!

日本史分野なら  
お任せあれ!



No.1

そりた ゆづき  
反田 唯月

- ①日本中世史
- ②福島県福島市です!
- ③YouTubeで動画・音楽鑑賞です!
- ④1日も早く業務に慣れるように頑張ります!

私と土器、  
どちらが  
イケメンですか?



No.2

わだ は ゆ る  
和田 八由流

- ①社会教育学
- ②青森県青森市です!
- ③居合道です!斬りまくりです(笑)
- ④笑顔を絶やさずに勤務します!

～杵淵ゼミ「財布の中にも歴史はあった!」展示関連～

# ドイツ緊急通貨名鑑

## in ハイパーインフレ

物価上昇の止まるところを知らなかった1922-23年。  
人々の生活を支えるべく大量に発行されたが、  
逆にインフレ悪化の一因になってしまった。  
そんな紙幣たちを大紹介!!

0 発行体

種別

①額面 ②発行地 ③発行年 ④法量 ⑤材質  
⑥コメント 絵柄の主題や作意、紙幣発行の背景や理由など  
について、憶測と皮肉を込めてコメント。

1 ビーレフェルト市

自治体



①25マルク ②ビーレフェルト ③1921年7月15日 ④約115×83mm  
⑤絹 ⑥地場の繊維産業を生かして布製貨幣を開発。中央部に描かれた  
“癒しの泉”には大戦の傷病者の回復への祈りが込められている。

2 ベルリン市

自治体



①100マルク ②ベルリン ③1922年10月11日 ④147×95mm ⑤紙  
⑥左側に熊の紋章。インフレの昂進で本来100マルクは戦力外だが、紙幣  
不足のため50万の赤スタンプで再利用へ。引退前にもうひと働き!

3 ヴェストファーレン州銀行

地方銀行



①10,000マルク ②ミュンスター ③1923年2月10日 ④141×80mm  
⑤紙 ⑥シュタインはナポレオン戦争敗北後にプロイセン改革を主導した  
人物。苦境のドイツにこそ改革者が必要だと紙幣が訴える。

4 アーヘン市

自治体



①20,000,000マルク ②アーヘン ③1923年7月20日 ④151×91mm  
⑤紙 ⑥カロリング朝の中心地だったアーヘンは満を持してカール大帝を  
紙幣に投入。偉大な皇帝の威光によってマルクの価値を高めたいが…。

5 ケルン市

自治体



①500,000マルク ②ケルン ③1923年8月1日 ④150×90mm ⑤紙  
⑥世界最大のゴシック建築のケルン大聖堂を絵柄に採用。市民の絶大な  
信仰心が紙幣への信頼に結びつくなら、マルクの価値も安定するはず。

7 カッセル市

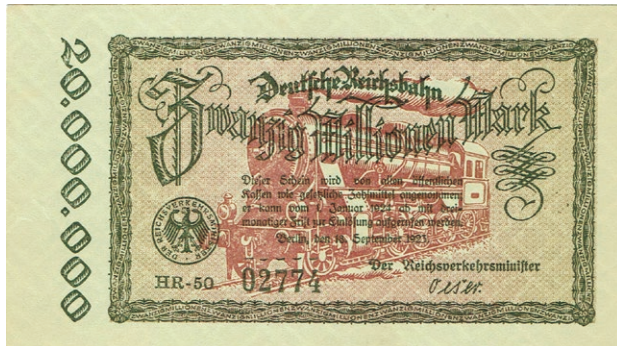
自治体



①1,000,000マルク ②カッセル ③1923年8月23日 ④138×80mm  
⑤紙 ⑥カッセルはグリム兄弟が約30年間住んだゆかりの都市。兄ヤーコ  
ブの登場は当然として、弟ヴィルヘルムの不採用は解せない…。

9 ドイツ鉄道

交通省



①20,000,000マルク ②ベルリン ③1923年9月18日 ④134×75mm  
⑤紙 ⑥基幹インフラの鉄道の運営継続のため交通大臣が認可。巨額の  
通貨発行によって蒸気機関車とハイパーインフレが爆速で突き進む。

6 ブレーメン市

自治体



①1,000,000マルク ②ブレーメン ③1923年8月4日 ④155×96mm  
⑤紙 ⑥中央の人型は自由と独立の守り手ローラント像。現下の危機こそ  
彼の出番。ハイパーインフレから救い出してほしいという願いのあらわれ。

8 フェニックス社

民間企業



①50,000,000マルク ②デュッセルドルフ ③1923年9月15日  
④112×85mm ⑤紙 ⑥社名のフェニックスは自ら焼死しその灰から蘇る  
伝説の鳥。券面に描かれたのは同社の断末魔か、それとも復活の産声か。

10 オルデンプルク信用銀行

地方銀行



①ライ麦1kg ②オルデンプルク ③1923年10月26日 ④90×54mm  
⑤紙 ⑥マルクを信頼できなくなった穀物生産地が考案した対インフレの  
切札。価値はライ麦で保証され、もちろん現物1kgとの交換も可能!